

授業科目名	地球環境共生演習(2):やんば るの森と海と人に学ぶ自然との 共生	単位数	2
担当教員名	保屋野初子・鬼頭秀一	担当形態	オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)	(保屋野初子)環境ジャーナリストとして国内外で取材活動を行い 執筆や講演などを通して環境問題のなかでも水問題(ダム開発や水 汚染、水道問題など)について調査報道的な仕事とともに、編集者 としても多くの出版物製作に関わった。また大学院修士課程、博士 課程での研究により学位を取得。社会貢献活動としては、小規模水 道を支援するNPO法人の立ち上げ・運営に関わり15年、公益財団 法人日本自然保護協会理事を8年間務めた。星槎大学では、環境社 会学、水環境論のほか演習科目として、沖縄県北部やんばる地域、 長野県小谷村でのフィールドスタディなどを担当している。		
「学位授与の方針」との関係 とくに、B、D、E、Fに強く関連している。			
授業の到達目標及びテーマ 現場を訪問する体験を通して自然と人とのかかわりを体感的に深く学ぶとともに、事前学修と 事後学修によって基礎知識と問題意識を仲間と共有し、継続的に考え学び続ける。			
授業の概要 沖縄の命のみなもと言えり沖縄県北部・やんばる地域。世界自然遺産登録候補地の亜熱帯 林、サンゴ礁に縁どられた東海岸は天然記念物ジュゴンのえさ場でもある。現地を訪れ、世界 的にも生物多様性豊かな自然環境とそこで育まれてきた地域の暮らしと文化にふれ、人々の話 に耳を傾けて対話し、自然と人とのかかわりを学ぶ。さらに、そこで進む辺野古基地建設など 米軍基地問題の存在と課題を「共生」の観点から考える。スクーリングは、2泊3日の現地で のフィールドスタディ、事前学修・事後学修から成る。追加的に、課題研究/共生レポートI も履修可能。*ただし、新型コロナウイルス感染状況により、現地訪問が不可能となる場合は、科目が 中止となることもある。			
授業計画 事前学修(SC1日分):オンデマンド・スクーリング(自宅で各自受講) 現地フィールドスタディ(SC2.5日分):8月27日(金)~8月29日(日) 事後学修(SC0.5日分):オンライン・スクーリング(Zoomによる自宅受講)			
スクーリングでの学修内容 事前学修:指定教材によるオンデマンド授業を自宅受講。やんばる地域の自然環境(生物多様 性、世界自然遺産登録候補地)、人々の伝統的な生業と暮らし方、米軍基地と人々の生活およ び海への環境への影響などについて、基礎知識を得る。 フィールドスタディ(現地でのSC): 1日目:(午前)那覇空港集合、名護市に移動 (午後)名護市東海岸・辺野古テント村で大浦湾埋め立たの状況と環境問題について話を聞く →やんばる世界遺産登録の課題について講義を聞く→やんばるの森へ移動し宿泊 2日目:(午前)やんばるの森でのエコツアー (午後)大浦湾でグラスボートからサンゴ群集観察・解説→貝と言葉のミュージアムで大浦湾			

の環境と貝について講義を聞く→名護市街地に移動し宿泊

3日目：(午前) 名護市西海岸の開発関連現場で話を聞く

(午後) 本部町の辺野古沖埋め立て用の土砂採石場を見る→那覇市へ移動→那覇空港で解散  
事後学修：Zoomによるオンライン・スクーリング。事前学修～フィールドスタディを通して  
学んだことのディスカッション、省察(科目修得試験を兼ねる)

\*以上のプログラムは、事情により変更の可能性あり

教科書

なし

参考文献

事前学修の前に資料を配布する

学生に対する評価

スクーリング評価(60%)、科目修得試験(40%、事後学修時に実施)を総合して評価